

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

### スプリントカヌーに挑戦（8月10日）

町教育委員会と南富良野高等学校による町の小中高連携教育推進事業の一環として、かなやま湖で、レーシング用カヌーを使った「スプリントカヌー体験」が町内小中学生を対象に行われました。指導には永田秀次郎南富良野高等学校カヌー部監督と同校カヌー部員6名があたり、参加した小学6年生2名と中学生7名は、カヌー授業で使用するカナディアンカヌーと違い、安定しないスプリント艇のバランスに悪戦苦闘しながら果敢に挑戦していました。参加者からは、「普段乗れないカヌーを体験できて楽しかった。また、機会があれば参加したい」と話してくれました。



### 七夕まつりを楽しむ（8月7日）

町商工会（曾慶一介会長）の主催による恒例の「こども七夕まつり」が幾寅駅前広場で開催され、親子連れなど約250名が参加しました。

午後6時に集まった子どもたちは、3グループに分かれ、商店街を歌いながら回り、ロウソクとお菓子をもらっていました。会場では、ちょうちんコンテストが行われたほか、花火が子どもたちに無料で配られ花火をしたり、会場では、タイ焼きや玩具の露天が店舗され、参加した親子連れの皆さんは、楽しい一夜を過ごしました。



### 「盆踊り大会」元気よく夏を楽しむ（8月18日）

幾寅地区連合町内会（佐藤茂会長）が主催する「地域ふれあい盆踊り大会」が勤労青少年センター前駐車場で行われました。

大会では子ども盆踊りや仮装盆踊りが行われ、仮装の部では個人・団体に分かれて行われ出場者はそれぞれ工夫を凝らした衣装で登場し、町外からの参加者もあって、見物客を楽しませていました。

審査の結果、仮装団体部門は、幾寅婦人会6名にとる「AKB6」、個人部門では、「越後獅子」に扮した渡邊ヤヨエさん（幾寅）が優勝しました。

### 「南風塾」の塾生が大健闘（7月22日）

幾寅の空手道場「正伝勤労者空手道南風塾」（田口桂治塾長・塾生23名）に所属する13名の塾生が、札幌市で開催された「第14回チャレンジカラテトーナメント」に出場し、硬式空手部門の小学3・4年男子の部の河原拓夢くん（幾寅小4年）が優勝、佐藤圭佑くん（幾寅小4年）と宗形一颯くん（落合小4年）、小学5・6年男子の部の吉田匡希くん（幾寅小6年）が第3位になりました。

この大会は、さまざまな流派の団体が各部門に分かれて、500名を超える選手が参加して、毎年開かれています。

6年生の吉田匡希くんは「優勝できず残念でしたが、小学生最後の試合で、銅メダルが取れてうれしいです」と話してくれました。



### 南富高カヌー部インターハイ出場（7月30日）

石川県小松市を会場に8月3日から行われる全国高等学校総合体育大会（2012北信越かがやき総体）カヌー競技に出場する南富良野高等学校カヌー部5名が池部町長を表敬訪問し、池部町長が「北海道代表として頑張ってきてください」と一人ひとり激励しました。

競技に出場した結果、各選手が予選から準決勝に進出する活躍をしました。



### 「とれたて野菜まつり」（8月4日）

「JAふらの南富良野支所とれたて野菜実行委員会」により道の駅物産センター横の広場で「第11回とれたて野菜まつり」が開催され、多くの買い物客で賑わいました。テントの中には、とりたてのジャガイモやキャベツ、大根、ナスやピーマン、メロン、スイカなどが所狭しと並び、格安で販売。人参の詰め放題では用意した200kgが完売の大人気。このほか、無料の特産ジャガイモ・人参など6種類の野菜をバイキングスタイルで食べる「地場主要野菜のチャレンジ試食会」も登場し、大盛況でした。



### ふくしあで夏祭り（8月4日）

社会福祉法人南富良野大乘会が運営する特別養護老人ホームふくしあ（宮地勉彦施設長）で4回目の夏祭りが開かれ、利用者や家族をはじめ地域住民など多くの皆さんが集まり、賑やかな催しを楽しみました。

途中の雨によりプログラムを短縮して行われましたが、「ふらのひよっとこ踊り」や職員による「よさこいソーラン」などが披露されたほか、フィナーレには、打ち上げ花火も行われ、大いに盛り上がりました。

